

(令和6年2月29日発表)

無電柱化事業における低コスト手法の実地検証の実施

◆アピールポイント	<ul style="list-style-type: none">・中部電力管内では整備実績が無い「電力用マンホールの小型化」による電線共同溝整備の効率化を目指し、模擬モデルによるケーブル敷設・端末接続作業性を「見える化」した静岡県内では初めてとなる実地検証を実施します。・関係機関と検証過程を共有することで、新たな整備手法に対する技術者の知見・経験を結集し、導入に向けた精度を高めていきます。・能登半島地震の発生を受け、市民の災害に対する意識が高まっており、静岡市無電柱化計画における基本方針の主眼である「防災機能の強化」に直結します。
◆内容など	<p>★実施経緯</p> <p>本市では近年多発する自然災害に備え、道路の無電柱化を推進しており、静岡市無電柱化推進計画（第8期）に基づき、防災機能に寄与する緊急輸送路等の整備を主眼にしつつ、安全・安心な歩行環境の形成に寄与する道路や魅力ある景観の保全・創出に寄与する道路で事業を推進しています。しかし無電柱化の整備にあたっては、事業の長期化や事業費の高騰が課題となっており、新たな整備手法の導入による事業のコスト縮減やスピードアップを図ることが求められています。</p> <p>★実施概要</p> <p>日時：令和6年3月1日（金）10時30分～15時30分 場所：清水区 西久保 26-1（別紙参照） ※雨天決行</p> <p>★低コスト手法とは（別紙参照）</p> <p>国土交通省が発出した「低コスト手法の導入の手引き」により推奨される手法で、【浅層埋設方式】【小型ボックス埋設方式】【直接埋設方式】などがあります。従来手法よりも、掘削範囲・土量の抑制及び支障となる既存埋設管の削減が期待される手法です。</p>

別紙資料 有 ・ 無

ぜひ取材をお願いします

【市問合せ】	市街地整備課（静岡庁舎7階）
	担当 山田、小池
	電話 054-221-1620

【実地検証場所】

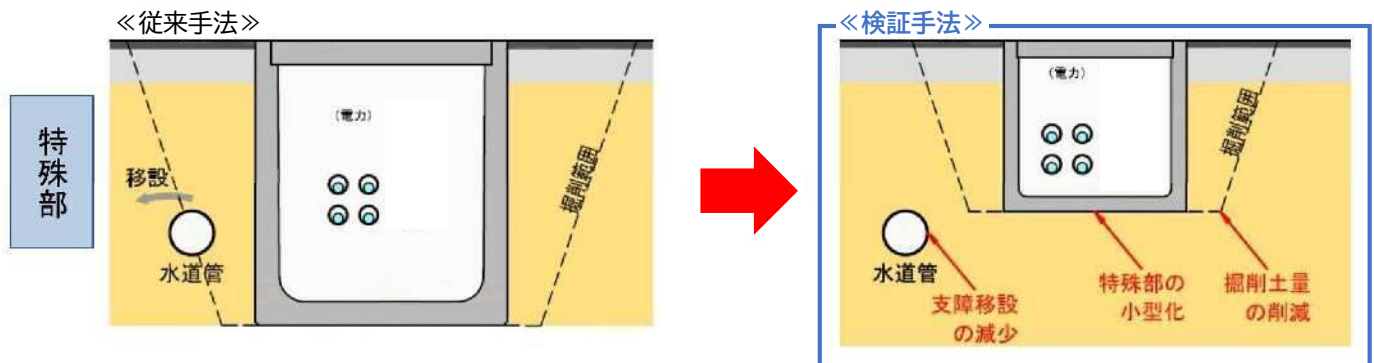


【検証現場(模擬モデル)】



グラウンドレベルに**模擬モデル**を製作することで、作業性を「見える化」した検証

【検討手法の特徴】



出典:道路の無電柱化低コスト手法導入の手引き(案)-Ver.2-

※電力用マンホールの小型化